

資料番号	3
------	---

令和5年1月19日

課名 農林水産局森林保全課
担当者 課長 野上
内線 3693

広島県におけるナラ枯れ被害について

1 要旨・目的

ナラ枯れについては毎年度被害の調査を実施しており、令和4年度の被害調査の結果と今後の被害対策について報告する。

2 現状・背景

ナラ枯れとは、ナラ類等（特に広島県ではコナラ、ミズナラ）の樹幹にカシノナガキクイムシが入り込むことでナラ菌が樹幹内で伝播し、根から水を吸い上げる機能が弱まることで枯死する現象で、主に7～9月頃に被害が確認される。

本県におけるナラ枯れ被害は平成18年度に初めて確認されており、防除対策を実施した結果、平成22年度をピークに減少傾向が続いていたが、夏期に少雨・高温になる年は被害量が増加する傾向がある。

3 概要

(1) 調査対象

県内の広葉樹林

(2) 調査期間

令和4年8月1日から令和4年11月30日まで（集計期間を含む）

(3) 調査方法

前年度被害が確認された区域及び市町等から当年度被害の情報提供があった区域について、県の防災ヘリコプターを活用して上空から被害箇所をカメラで撮影するとともに、地上から、国道や県道沿いの定点観測地点における被害箇所をカメラで撮影し、撮影した全ての画像からナラ枯れの被害木の本数を計測する。

(4) 調査結果

令和4年度のナラ枯れ被害は、夏期に少雨・高温が続いたことから、被害が多かった令和2年度とほぼ同数の3,653本（対前年比約2倍）に増加しており、新たな地域（7市町）を加えた16市町で被害が確認された。

表1 広島県におけるナラ枯れ被害本数の推移（H22 及びH30～R 4）

（単位：本）

区 分	ピーク時	直近5ヶ年				
	H22	H30	R 1	R 2	R 3	R 4
広 島 市	196	976	964	1,058	235	150
*竹 原 市	0	0	0	0	0	50
*三 原 市	0	0	0	0	0	1
*尾 道 市	0	0	0	0	0	97
*福 山 市	0	0	0	0	0	11
*府 中 市	0	0	0	0	0	196
三 次 市	3	0	0	120	25	254
庄 原 市	33	4	29	436	359	701
*東 広 島 市	0	0	0	0	0	11
廿 日 市 市	61	26	124	429	645	1,630
安芸高田市	0	59	98	871	125	37
安芸太田町	4,246	223	88	251	179	175
北広島町	1,749	373	163	467	180	203
*大崎上島町	0	0	0	0	0	10
世 羅 町	0	0	0	0	7	11
神石高原町	0	0	0	0	7	116
合 計	6,288	1,661	1,466	3,632	1,762	3,653

注：*印が、新たに被害の確認された市町

(5) 被害対策

カシノナガキクイムシを駆除することが最も効果的であることから、被害木への薬剤くん蒸処理が一般的に行われており、本県では平成22年度から実施している。

なお、被害対策にはひろしまの森づくり県民税を活用している。

表2 広島県における直近3か年の実施状況（R 2～R 4）（単位：本、千円）

年 度	実施市町	事業量 (本)	事業費 (千円)
R 2 実績	広島市, 安芸太田町	130	757
R 3 実績	廿日市市, 安芸太田町	131	839
R 4 計画	安芸太田町	100	648

(6) 今後の対応

全県的に被害が拡大している中において、被害の発生状況を市町と共有するとともに、引き続き、ひろしまの森づくり県民税を活用して、市町の被害対策を支援する。

また、中四国8県等とも情報交換を行う等の連携を図り、効果的な防除方法の導入に向けて検討する。